

テーマ

高速浴と素焼き槽を用いた、建機向けシリンドラーの修復需要に対する短納期化及び低コスト化

千葉県鍍金工業組合 組合員企業

株式会社ケーヨーハード

本会では、「中小企業新事業活動促進法」に基づく中小企業者の「経営革新」への挑戦、取り組みを支援しています。

このコーナーでは、本会の会員組合の中から、自社の創意と熱意が認められた「経営革新計画」の策定にチャレンジし、千葉県知事から承認された企業の事例をご紹介します。

経営革新計画とは？

「経営革新計画」とは、「中小企業新事業活動促進法」に基づき、中小企業者が作成する、新商品の開発や新たなサービス展開などの取り組みと具体的な数値目標を含んだ3年から5年の「ビジネスプラン」のことです。この計画を千葉県に申請して承認を受けると、政府系金融機関の低利融資、信用保証の特例、特許関係料金減免等の他、ちば中小企業元気づくり助成事業（市場開拓助成／新商品・新技術・特産品等開発助成）の対象となります。

申請のくやわしは？

鍍金（めっき）業者の顧客である自動車や工

レクトロニクス関連メーカーは、海外に製造拠点を新設するなど、国内製造から海外製造へのシフトを推し進めている現状があり、当社を取り巻く事業環境は、仕事量の減少と単価競争の激化によって厳しい局面にありました。

一方で、震災からの復興需要や昨今の建設需要の高まりに伴い、建機向けシリンドラーの修繕に対するニーズがここへ来て盛り上がりを見せていたことから、当社として、短納期且つ高度化に主眼をおいた新たな加工方法を検討するなかで、こうした潜在需要を着実に取り込んでいくことを強く意識するに至り、事業化に向けての実行体制の整備に取り組みむこととしました。

テーマ及び内容は？

1. テーマ

『高速浴と素焼き槽を用いた、建機向けシリンドラーの修復需要に対する短納期化及び低コスト化』

2. 計画期間

▽平成26年3月～平成29年4月（4年計画）

3. 内容

当社は、硬質クロームメッキや円筒研磨加工

等を中心に、主に、建機に用いられるシリンドラー関連の部品を鍍金加工しております。

加工品種としては、新規製作の部品が6割程度で、残り4割が使用済みシリンドラーの修復加工という状況です。

新規の部品については、業界内の競争が激しく、収益率としては低下傾向にあります。修復品の方は比較的利幅が大きいため、当社としては、より収益を望める修復品に対する受注を増加させることで、経営体質の強化を図りたいと考えました。

新たな取り組みの特徴は？

【現状】当社は新規製品を主に、修復品受注への対応を行ってきました。

▼新規製品を主に取り扱うと、競争価格に巻き込まれ、収益が下落してきている。

▼修復品を伸ばそうとすると、現在のサージェント浴では、強度を高めるために浴槽へ浸漬させる時間が通常の新規製品に比べ長めに行わなければならない。よって新規製品を主とする当社としては、工程管理上新規製品を終了した夜間等に時間のかかる修復品を対応し

てきた。

▼修復品に対する顧客の要望は、納期短縮に重きが置かれている。

【経営革新部分】現在のサージエント浴から、高速浴に切り替えることで、鍍金速度と鍍金強度が高まる。よって、今後伸ばすべき修復品を主眼とした工程管理への変革がしやすくなる。

▼昼夜を問わず修復品の対応を行うことができ、納期短縮のニーズに応えられる。

▼修復品が多くなることで、鍍金液の汚れ（特に油によるもの）が懸念されるため、素焼槽を組み合わせ、溶液の管理及びコストダウンを図る。

◎新たな取り組みの特徴

① 高速浴と素焼き槽を組み合わせた、短納期と低コスト化の実現を行う。

② 新たに高速浴を導入し、高品質かつ短納期化を図る。

③ 高速浴において、効率的な生産を行うため、シリンドラーの投入方法の検討及びシリンドラーをラック等の治具を用いた最適化を試みる。

④ 建機シリンドラーの修復処理をする場合、メッキ液品質悪化の原因である、油分の処理を検討する必要がある。よって、素焼き槽を用いた油分除去と液層の管理を実施する。

⑤ 24時間稼働であるため、電極版（アノード）の消耗が激しい。従って電極版の寿命を延命させる作業方法（作業手順及びチェック方法）を確立させる。

取り組みの成果は？

経営革新計画の承認を契機に、行政の支援制度を積極的に活用する流れが生まれ、一つの成果として、平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」に挑戦し採択されました。

ものづくり補助金採択後の現在、前記した①～⑤の取り組みを最重要課題として、実施体制の整備を進めております。今般の経営革新計画の申請及びものづくり補助金を介し、申請書を作成するなかで、既存設備の問題点が浮き彫りになり、効率的な受注体制の整備に対する認識が深まりました。また、設備導入によりもたらされる効果がより鮮明になりました。

社長さんの一言

今回、千葉県中小企業団体中央会から制度の紹介と、中小企業診断士の川村先生を派遣して頂けたことで、当社の経営計画を作成することができました。経営革新計画の承認を受けたことで、当社のこれからの事業計画について整理することができました。技術の独自性を追求し、お客様のニーズにスピーディーに対応し、差別化できる経営資源を蓄積して、安定した会社を目指します。

今回のことを通して、中長期経営計画及び明確な目標設定ができました。今後も鍍金業としての役割と新たな価値を追究していきたいと思えます。

中央会から

◎「経営革新」で逆風を跳ね返す知恵を見出す！
会社の規模の大小を問わず、今や経営の革新なくして企業を存続させることは難しい時代と言えます。

われわれは、現有の経営資源を最大限に活用し、新たな「顧客価値」の創造、即ち、他社との「差別化」を図らなければなりません。

ビジネスの「付加価値」を高めれば、顧客の中に「あなたから買う理由」が生まれます。「付加価値」こそが企業の「個性」であり、他社との「差別化」要因であり、自らの「ブランディング」に繋がる可能性といえます。

「経営革新」の承認を目指すことは、「付加価値」差別化の提案を創出することに他なりません。「経営革新」へのチャレンジで経営の向上を図りませんか。

◎経営革新に関するご相談は本会経営支援部までお願い致します。☎04333063282



企業プロフィール

団体名：千葉県鍍金工業組合
企業名：株式会社ケーヨーハード
代表者：矢口 忠夫
所在地：白井市河原317
電話番号：047-491-8892
資本金：12,000千円
従業員数：15名
業種：金属皮膜（硬質クローム）
円筒研磨加工・機械加工
E-mail：keyohard@snow.ocn.ne.jp
URL：http://www.keyohard.jp/
承認年月日：平成26年2月28日
支援機関：千葉県中小企業団体中央会